

## 気持ちも景色も 色彩やかに なる季節

「色」でデザインする

### 日本の風景に馴染む デザイン

梅もすっかり散ってしまい、各地から桜の便りも届くようになりました。もう春ですね。

私は桜よりも梅の花が好きで、朝の通勤時に梅が咲き誇る借楽園を眺めては「日本って良いなあ」と朝から贅沢な気分を満喫していました。最近気づいたのですが、その梅が咲く借楽園の前を、特急フレッシュひたち走る姿が、また何とも素晴らしい(特にピンクが良い!)。ご存知ない方もいらっしやるかもしれませんが、フレッシュひたちは5色のカラーパリエーションがある珍しい列車です。ちょっとウィキペディアで調べてみたところ、5色にはそれぞれコンセプトがあり、実はピンクは借楽園がテーマだそうです。これには驚いた!

ままとデザイナーの術中にはまった感もありますが、デザインの面白さを感じる出来事でした。皆さん、一見の価値有り、ですよ。

### 色には「力」がある

デザインの仕事をしていると、「色」には力があると実感します。春になると巷のファッションは急にカラフルになりますね。服装の色味で着る人の気分もガラリと変わります。私たちの仕事でも、既存のイメージを変える時に、そうした色の力を利用することがあります。

これまで様々な実験的商品開発をしてきた行方の麻生商工会から、今度は手焼き煎餅を贈答用にしたいとの要望を受け、新しいパッケージをデザインしました。とはいえ、消費量を考えると、包装材のコストを極端に上げるようなパッケージは難しい。また、「高級煎餅」というイメージでは地域性が見えない。クライアントからは「行方の歳時記」を表現して欲しいとの要望もあり、6種類のお煎餅それぞれに歳時記の絵を入れた6色の「紙巻き帯」をデザインしました。絵のタッチ

は、あくまでも「地域性」や「お煎餅」感を尊重し、紙帯の「色」を使って大きく印象を変えるを試みしました。

### NHKも色づく

前回の本誌で紹介したNHK水戸放送局のキャラクターたちにも、それぞれカラーがあります。4月の新年度スタートに合わせ、水戸放送局エントランスにキャラクターフラッグが登場する予定です。春とともに登場するカラフルなフラッグで、水戸放送局のイメージが少し変わります。



「行方歳時記(お煎餅)」のカラフルな紙巻き帯。この紙帯を既存の袋詰めにくるりと巻いて、できあがり。お煎餅屋さんにとって、包装作業に手間が掛からず、負担が少ない。

PUBLICITY

## ネットヨタ茨城の 季刊誌「meine(マイネ)」が創刊!

弊社が企画・取材・編集・デザイン

ネットヨタ茨城の創業40周年に合わせ、年4回の季刊誌「meine」が創刊されました。雑誌のテーマは、地元の人が「やっぱり茨城って良いね!」と思うものを掘り起こす!創刊号は懐かしい街並みが残る真壁・北条を特集しました。茨城ではクルマは交通手段として、なくてはならない存在。この「meine」をお供に春のモーターツーリズムを楽しんでみては?

「いばらき」の良い所を  
ご案内します

